
私の周りは、金持ちばかり！？

夜桜 舞利花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

私の周りは、金持ちばかり!?

【Nコード】

N4280Z

【作者名】

夜桜 舞利花

【あらすじ】

ごく平凡な容姿、平凡な家庭、平凡な日常を謳歌して2年、ついに高校3年になった真理 風夜17歳。庶民な彼女の人生が最後の高校生活、とある非凡な男子7名によって180度人生の進路が変わってしまった!「え、携帯にダイヤのストラップって庶民舐めてんの?ヘリコプター標準装備ってなんですか?拳銃持つちゃ駄目でしょ、銃刀法違反ですが!」「常識も法律も彼らの前では、全てが無効!見目麗しく家柄も宜しい彼ら。そんな彼らにも闇を抱えている。さあ、ヒロインは彼らを救いだせるのか!?果たして庶民とセ

レブとの間で恋愛フラグは立つのか！？敬語標準装備なモブキャラ
ヒロインの波乱万丈物語！

私の日常

全ては偶然の積み重ね

少女と少年達の接点はまるで無く

唯一の共通点は同じ学校で教育を受けているということだった

2年間通っていても会うことも知り合うことも無かった彼ら

世界も生活も経験もまるで違う少年と少女

出会うことも知り合うことも無いはずだった

しかし、神様というものは本当に気まぐれなもので

きつと退屈しのぎに彼らに化学反応を起こそうとしたに違いない

全ての出会いは、1年の始まりから

少女の高校生活が終わるまで後1年という時期に

全ての運命が狂い出す

世界のトップに立つ少年達と一般の家庭で育てられた少女

とても交わることの無い平行線をずらして交わらせる

さあ、少女が作り出す最高の物語

物語の1ページが・・・今つづられる

* * * * *

ジリバンツ!!

アラームが鳴ってからわずか1秒という早業で止めた少女。

カーテンを開け、ちよっと背伸び。

そして、眩しい太陽に目が焼けそうになりながらも、とりあえずい

つも通りの挨拶。

「グッモーニング、朝日っ！！！」

光が相変わらず私の目に染みますねっ！！」

おはようございます、皆様。

運動神経が下の下でありながらも、アラームの音が長引くと、我が史上最強母上に殺されるので僅か1秒で止めたのは紛れも無く

真理しんり 風夜ふうよ、私でございます。

今日、聖クリサンテマム学園3年になる平凡を目指している普通の学生です。

本当に普通になりたくてたまらないにもかかわらず、注目度No.1を誇る聖クリサンテマム学園という学校に入った理由はただ一つ。

我が母上からによる絶対命令だというのは言うまでもありません。

我が母上は、神をも倒せるほどの技を持っていると私は信じております。

私は、彼女に逆らえるほどの力量も努力も希望すらありません。

というか、反乱を起こそうとした時点で

私の人生にピリオドが打たれます。

「風夜、ご飯よぉー!!」

早く下に下りてこないと・・・分かってるわよね？」

「はいつ、早急に着替えてマッハで下に向かわせていただきませ
っ!」

あらかさまに低い声を出したのは、史上最強の支配者である我が母
上でございます。

彼女に逆らうなんてとんでもないっ!

逆らったら最後・・・明日の朝日どころか今日の夕日も拝めませ
んっ!

早く降りて来いといわれたら僅か3秒にして着替え、残りの7秒で
下に行き席に着かなければならないという

壮絶なる生死の戦いを繰り広げなければならないのです。

しかし、これも日常。

絶対普通じゃない家族会話であろうとこれが私の日常なのですっ!
普通も何もこの家では通用致しません。

我が家には、この家独自の日本の法律を無視しまくった

444の法律があるのですから。

なんとも不吉な数字だと私でも思います。

この法律の自身は、口にするのすらおぞましいほどのルールが刻まれています。

私はこの法律をわずか4歳の頃に全て頭に叩き込まれました。

その時の恐怖は今でも忘れられません。

「……死刑まで後5秒」

何処からも無く耳に入る死刑宣告を聞いた私は、そのままリビングへと階段を転げ落ちる勢いで行かせていただきました。

幸いにも我が母上はまだ包丁を手にしておりませんでした。

ぎりぎりセーフです、首皮一枚ギリギリ繋がっている状態です。

「あら、風夜ちゃんやっとな来たのね。
後1秒遅かったら・・・ふふふっ
」

笑顔が果てしなく恐ろしいと感じてしまうのは私だけでしょうか、
お母様？

その笑い方が恐ろしいことこの上ありません。
失礼ですが、1秒遅かったらどうなったか聞いてもいいですか、ね
えっ!？

冷や汗をかきながらも朝ごはんを食べている私の元に。
私のこのガタブル震えるハートに対して、嫌味かと思えるほどの輝
きを大量放出している存在。
つまり・・・

お父さんが降り立ったのです。

「グツモーニンツ、スウィートハート!!
相変わらず、今日も素敵だよっ
」

お願いですから、止めてくださいお父さん。
果てしなく恥ずかしいです。

周りの人からみたらかなり痛い人です。
もう、なんとというかこの世から存在抹消させてください。

どん底に落とされつつある私の人生には眩しすぎます。
というか、私の人生の全ての元凶は、

貴方がこの史上最強の母上と結婚したことから始まっているということを知っているんでしょうか？

お父さんの声を聴いた瞬間。

今までドス黒いオーラという名の殺意を放出していた母は、作業を止め。

振り返った瞬間

ピンク色のオーラが大量放出されました。

「ダーリンっ！貴方も今日とっても素敵よ！
貴方の結婚して本当に良かったわ！愛してるっ！！」

無駄に輝いております。

目に涙が浮かんでおります。

はい、そして皆様言うまでもありませんが

我が母上の片手には目薬が握り締められております。

ねえ、お父さん・・・いい加減お母様の本性に気づきましょうよ？

というか、明らかに目薬さつき打ってたじゃないですか？

本当に止めてくださいこのラブシーン。

昼ドラにだって出てこないくらいのラブラブの新婚夫婦の早朝の場面ですよ？

失礼ですが、結婚してから何年目ですかあなた方？

永遠に新婚気分夫婦がっつ！！

そう私が声に出さず、ひっそりと本音を心で暴露した瞬間

「・・・両親への礼儀、なって無いわよ風夜ちゃん？」

にんまりという効果音がこれほど似合うシーンは無いと思います。

というか、お母様の後ろに見ます私にはっ！

目が笑っていない我が母上の背中後ろには、まるで守護神のように

サタンが立っているのをっ！！！！

ごめんなさい、お母様っ！！

本当にごめんなさいっ！超調子ぶっこきましたっ！！

私はそこらへんに居る微生物以下の存在なんですよね、はいっ！！

本当に謝ります！全世界の微生物の方々に謝りますっ！！！！

そして、最後に一つだけ疑問をぶつけさせてくださいませっ！！

・・・私、声に出していなかったのに何故分かったんでしょうか？

11

「風夜ちゃん、時計を見なさい」

輝く笑顔でおっしゃった我が母上。

ごめんなさい、裏のある笑顔も恐いですが。

無駄に輝いている笑顔を見ると畏があると思ってしまうのは私がおかしいからでしょうか？

そう思いつつも時計を見上げる私。

時間を読んだ瞬間私の頭と体と心、そして全ての気管が

凍りつきました。

現在の時刻は、8時を指しており、学校までかかる時間は約20分。そして、今日は記念すべき入学式ということで時刻はいつもより早く、集合時間は・・・

8時10分。

ごめんなさい無理です、確実に遅刻です。

私の体育2の成績の運動能力で走っても10分でつけません。無理です、本当に無理です。

しかし、勿論許すはずも無い我が母上。

極上の笑顔と共に一言。

「・・・・・・・・掟第124条、忘れてるのかしら？」

究極の脅しのお言葉を口になされました。

ああ、これは死刑宣告なんですネ。

遅刻したら、家に帰ってきた瞬間『死刑だぞゴラァッ！！』という虐待が待っているんですネ。

遅刻した瞬間、確実に明日の朝日拝めませんネ。

え、第124条って何のことかって？

眞理家の掟：第124条

『遅刻は厳禁。遅刻の報告を受けた瞬間、罰を受けることを覚悟せよ。』

遅刻をした罪として受ける罰は、三日三晩食料抜き。

その際には、財布もヘソクリも全て没収。

コンビニなんか行こうなんて・・・考えないように』

恐ろしいです。

幼児虐待の罪で訴えられますよねこの法律。

是非この法律を裁判所に送り付けたいです。

即有罪に出来る自信ありまくりです。

この法律、水すらも許されないといいものです。

普通に死にますよね。

というか、遠まわしに『死ぬ』といっておりますよね、実の娘に。

危険度MAXの家庭ですね。

「逝くの？それとも、逝かないのかしら、風夜ちゃん？

このままだと確実に学校・・・遅れちゃうわよ？」

素敵な笑顔と共に恐ろしい言葉を口にする我が母上。

恐いです、果てしなく恐いですお母様。

漢字が間違っていると思うのは私の幻覚でしょうか？

むしろそうであって欲しいの願うのは私だけでしょうか？

どちらにせよ

今出て行かなければ私の人生はここでピリオドを打たれますね。

「いってまいりますっ！！！！！」

オリンピック選手もビックリなスピードで家を飛び出す私。

これぞ火事場の馬鹿力というものでしょう。

恐怖に精神的に追い詰められると人間なんだって出来るはずですよ！！

もう、時刻はすでに8時5分。

確実に間に合わない時間ですが・・・

己の奥に眠っている未知なる力を信じて頑張りたいと思います！

はい、そこ現実逃避と思いましたよね！？

実際そうですから！というかそうじゃないとやってられませんからっ！！

帰宅部という運動なんてものとは無縁の部活に入っていますが、とりあえず、平凡尚且つ普通な生活を送るために目立たぬよう、学校に時間内につきたいと思えますっ！！！！

全力で走っている私の視界に舞散る桜は正直かなり邪魔ですが、やってみせます、真理 風夜！！！！

未知なる力を開花させてみせますっ！！！！

* * * * *

運命の歯車が壊れ始める早朝は、あまりにも普通

しかし、歯車は確実に壊れ始めている

外見も成績も普通であり、運動神経は言うのも恐ろしいほどの成績

そんな少女が他人の運命を左右するなんて・・・誰が想像できるであろうか？

少女の運命もまた7人の少年達によって全てが変わる

普通の日常というものとは無縁になるなんて・・・彼女は想像もしていないだろう

少女の運命を変える7つのピース

その7つのピースもまた彼女によって様々な形に変えられる

さあ、最初のピースに出会うまで

あと少し

私の日常（後書き）

風夜ちゃん、貴女これを平凡と称していいのかしら？（激汗

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4280z/>

私の周りは、金持ちばかり！？

2011年12月14日21時49分発行